

# 一般質問通告事項一覧表

令和7年 第1回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
1	小川 不朽	倶知安町宿泊税条例改正に伴う今後の対応について	<p>本年3月3日、倶知安町宿泊税条例が改正された。この条例は、北海道による宿泊税導入により宿泊税相当分を北海道に交付する財源確保と倶知安町を取り巻く社会環境の変化に対応するため、町宿泊税率の変更が必要になったことに伴い、所要の改正となったものである。</p> <p>地方自治法第216条では「歳入歳出予算は、歳入にあつては、その性質に従つて款に大別し、かつ、各款中においてはこれを項に区分し、歳出にあつては、その目的に従つてこれを款項に区分しなければならない。」と明記されている。</p> <p>倶知安町宿泊税条例改正に伴う、宿泊税に関わる歳入及び歳出の款項の区分について伺う。</p>	町長	
2	小川 不朽	本町の民泊サービスの普及について	<p>健全な民泊サービスの普及を図るものとして平成29年に住宅宿泊事業法（民泊新法）が成立し翌30年より施行され7年が経過する。</p> <p>本町におけるこれまでの住宅宿泊事業を営む旨の届出件数及び本町における民泊サービスの現状について伺う。</p>	町長	
3	小川 不朽	羊蹄衛生センターのし尿処理施設の更新について	<p>羊蹄衛生センターのし尿処理施設の更新について、『第6次倶知安町総合計画』では「浄化槽の汚泥施設となる羊蹄衛生センターの改修について計画的に進め、生活雑排水による公共用水域の水質汚染を防ぎ、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図っていきます。」、さらに令和7年度の『町政執行方針』においては「新たな施設の稼働に向け、羊蹄山麓環境衛生組合構成町村と連携し、検討してまいります。」と述べている。</p> <p>羊蹄山麓環境衛生組合における、新たな施設更新計画の具体と、計画の進捗状況について伺う。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
4	原田 芳男	南6条東2丁目の大型 開発行為への対応につ いて	民間開発による寄宿舍・共同住宅の開発に関わって、予定地近隣の住民から 多くの懸念が寄せられている。 町としても、懸念払しょくのためのかかわりが求められる。 住民説明会で出された懸念に町としてどう取り組むのか明らかにされたい。	町長	
5	原田 芳男	突出している観光への 予算措置	観光協会及び観光に係る予算が前年比で大幅に増額された。 観光協会への予算措置も昨年の57,889,000円増の2億5406万 8千円となっている。 倶知安町をどう発展させるかとの観点に立てば商業も農業もまた住民の暮 らしの問題、文化の問題などバランスの取れた町づくりが求められる。 町長の見解を求める。	町長	
6	原田 芳男	図書館の建設を求める 声は大きい	多くの町民が図書館の実現を求めている。 多くの議員も一般質問や予算、決算の質疑で町長や教育長に質してきたとこ ろです。 プールなどの複合施設の設置にあたって、絵本館とともに図書館の併設を求 める声も大きい。 教育長の見解を求める。	教育長	
7	原田 芳男	わが町での温浴施設の 実現を目指して	町民の多くが望む温浴施設の実現するには調査費など、予算措置が必要と考 えるが、町長の見解を求める。	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
8	唐澤 隆博	小中学校英語教育の推進について	<p>令和6年度教育行政報告で小中学校英語教育についての分析が示され、令和7年度の町政執行方針ならびに教育行政執行方針においても英語教育の重要性と子どもたちの未来を拓く英語教育の具体的な方針が示されました。また、先日倶知安小学校の授業を参観させていただいた際、子どもたちが生き生きとオールイングリッシュの授業に取り組んでおり、倶知安町の英語教育が進んでいることを実感しました。以下について教育長の考えを伺います。</p> <p>①倶知安町独自の話す・聞く・読む・書くのバランスを育成するテキストの研究について。  ②令和7年度のALT、英語教育支援員の具体的な勤務状況について。  ③小学校と中学校の英語教育接続について。  ④児童生徒の地域における具体的な英語活動について。</p>	教育長	
9	唐澤 隆博	部活動の地域移行について	<p>文部科学省では令和5年から令和7年までを改革推進期間とし、休日の部活動について、合同部活動や部活動指導員の配置により地域と連携することや、学校外の多様な地域団体が主体となる地域クラブ活動へ移行することについて、地域の実情等に応じて可能な限り早期の実現を目指すよう、各自治体に求めています。学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方と共に、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について教育長に伺います。</p> <p>①文科省、文化庁、北海道教育委員会でガイドラインや部活動の在り方に関する方針が示されていますが、教育委員会の方針・取組内容・スケジュールを伺います。  ②部活動の地域移行の状況について伺います。  ③大会等の引率や児童生徒の安全担保について伺います。  ④部活動・地域クラブ活動サポーターバンクのような具体的人材確保はお考えでしょうか。  ⑤地域移行に向けた課題について伺います。</p>	教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
10	早川 貴士	我が町の教育施策について	<p>我が町の教育施策について、ラーケーションの導入と、学校の校則に子どもたちや保護者の声を反映させられないだろうかとの声がある。よって以下2点について教育長の見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域特性を踏まえラーケーション導入は有効な施策と考える。見解を伺う。</li> <li>2. 子どもたち自身が身近な社会である学校のルール作りに参加していくことは、子どもたちの自主性を育て、主権者教育の一環として有効と考える。校則の見直しへ向けたガイドラインを我が町で策定してはどうだろうか。見解を伺う。</li> </ol>	教育長	
11	早川 貴士	冬季の終末処理場の異臭について	<p>冬季に入り終末処理場から異臭がするとの町民からの声がある。冬季は登録のある分だけで約2,500名が町民として加わり、我が町は約1万7千人の人口であり、旅行者も合わせると、最大で3万人規模の人口を抱えていることになる。そのような状況の中で、施設の老朽化やキャパオーバーではないかとの不安の声がある。また調理油をそのまま下水に流すなど、ルールを認識していない方もおり、水質の悪化による施設への負荷も懸念される。</p> <p>以上を踏まえ町長へ3点伺う</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 様々な言語の方が滞在する我が町では多数の言語による、油を流さない等のルールの周知が必要と考える。見解を伺う。</li> <li>2. 処理場の最大処理人数は何名で、また今後の改修計画とかかる費用と財源についての考えはあるのか？</li> <li>3. 河川への影響はないのか？冬季も調査が必要ではないだろうか。見解を伺う。</li> </ol>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
12	早川 貴士	市街地に計画されている冬季スタッフ向け大規模開発について	<p>先の新聞報道や経済建設常任委員会で報告のあった約1千人規模の冬季スタッフ向け住居の計画について町民の皆さまから様々な不安の声があがっている。</p> <p>特に今シーズンはニセコひらふ地区だけではなく、市街地でも冬季スタッフや旅行者による、ゴミや路上喫煙のポイ捨て、ルールを守られていないゴミステーションへのゴミ出し、路上飲酒を伴う住宅地での夜間の大声等の行為、雪道に慣れない危険な運転など、通年で住んでいる町民にとっては大きなストレスになっており、冬季スタッフや旅行者との共生は我が町にとって大きな課題となっている。そこで以下の2点について町長へ伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 我が町の生活安全条例で生活安全モデル地域として、ニセコひらふ地区ではより厳しい要綱を定めているが、近年は守られているとは言い難い。例えば反則金のある札幌の「ポイ捨て等防止条例」や東京都渋谷区などで始まったいわゆる「路上飲酒禁止条例」などの他の自治体の条例を参考にしながら、倶知安独自の新たな罰則を伴う条例を制定することが、先ほど述べた迷惑行為の抑制に繋がり、町民にとって安心して安全で、多文化との共生が可能になる「いつまでも住み続けたいと思う町」が実現できるのでは。見解を伺う。</li> <li>2. 今回の冬季スタッフ向け住居建設については、交通量の増加によって想定される排雪業務増加の費用負担や、建物の用途外の利用防止、近隣町内会との関係構築など、町として管理事業者または地権者と口約束ではない、協定等を結ぶことが必要と考える。見解を伺う。</li> </ol>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
13	波方 真如	小学校適正配置計画について	<p>1. 小学校適正配置計画の進捗と今後の方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の教育行政執行方針では、「・・・引き続き協議してまいります」と記述されていたが、令和7年度の執行方針では「動向を注視してまいります」と表現が変わっているが、令和6年度に行われた協議の具体的な内容と、その結果、どのような結論に至ったのか。(教育長)</li> <li>・平成28年の予測と比べ、児童数は想定よりも減少が早く進んでいる。これを踏まえ、小学校の適正配置計画を見直す必要があるのか(教育長)</li> </ul> <p>2. 教育環境の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統合が教育環境にどのようなメリットをもたらすと考えているか(教育長)</li> </ul> <p>3. 通学環境の整備についての考えは(教育長)</p> <p>4. 学校適正配置計画と長寿命化計画の関係について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「統合が決まるまで長寿命化改修を待つ」のか、それとも「統合の有無にかかわらず改修を進める」のか、明確な方針を示すべきではないか(教育長)</li> <li>・予算や整備計画に与える影響は(町長)</li> </ul> <p>5. 統合により不要となる校舎の活用についての考えは(町長)</p>	教育長 町長	
14	森 禎樹	財政シミュレーションについて	<p>総務課より示された倶知安町財政シミュレーション(令和7年2月時点修正版)をもとに、財政シミュレーション及び大型事業費について、町長の見解を伺う。</p> <p>(1) 財政シミュレーションの精度はどの程度であるか。</p> <p>(2) 直近3か年の実質公債費比率(3か年平均)、将来負担比率の変動を分析した結果、本町の行政運営における長期的展望をどう考えるのか。</p> <p>(3) 予算編成、事業選定において、財政シミュレーションをどの程度考慮しているのか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
15	森 禎樹	宿泊税の用途について	<p>令和6年第1回定例会の一般質問への答弁で、宿泊税を道路や水道へのインフラ整備に充当できる、間接利益に該当するものについても該当するとの答弁がありました。また、相対的な税額がどのくらいになるかも含めて検討すると答弁されていますが、宿泊税の用途について現在の見解を伺います。</p> <p>(1) インフラ整備（特に水道整備）に係る充当をなぜしないのか。</p> <p>(2) オーバーツーリズム対策への充当は検討していないのか。</p> <p>(3) 倶知安観光協会事業補助金のうち、管理費に要する補助金の額および定額補助の方法は適正であるのか。また、補助額が増額してもこれらの要件は変更しないのか。</p>	町長	
16	森 禎樹	コンサルの活用について	<p>本町では、事業委託において、調査業務や計画策定業務を中心にコンサルへの事業委託が数多く見受けられる。専門知識を要するものや、特殊な技能を必要とするもの以外の情報収集業務などは、適正かつ効果的な委託であるのかが不明である。以下、町長の見解を伺う。</p> <p>(1) 人員不足により、やむを得ずコンサルに委託している業務はあるのか。ある場合の内容は。</p> <p>(2) コンサルに委託する場合の選定プロセスはどのようになっているのか。</p> <p>(3) コンサルの評価は行っているのか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
17	古谷 眞司	住生活環境の整備	<p>令和7年度予算において、南6条団地公営住宅建替1号棟建築主体及び造成工事をはじめ、住生活環境整備予算が計上されています。</p> <p>そこで以下の点について伺う。</p> <p>①住生活基本計画の見直し業務を委託しているが、大きく見直す必要があると考える事項はありますか。</p> <p>②南6条団地公営住宅建替事業は当初より完了期間を前倒しするとの説明がありましたが、どの程度の前倒しを目指すのか。</p> <p>③民間住宅関連では地域優良賃貸住宅整備事業が今年度中に実施されるようですが、住替え支援事業との関連性について。</p> <p>④民間賃貸住宅家賃助成金は、現状の俱知安の賃貸住宅事情を考慮すると難しいと考える。そのために、未修繕のため利用できない町営住宅を早期に修繕し、若年世帯の住宅確保の対策と考えるが見解を伺う。</p> <p>⑤単身向けの住宅の確保について、民間事業者との協力、連携が不可欠と考えるが、今後の見通しについて伺う。</p>	町長	
18	門田 淳	発達支援センター等について	<p>発達支援センターの施設整備に向けて協議を重ね、施設の在り方も含め検討がなされていると認識している。そこで次の点について町長にお伺いします。</p> <p>①施設の利用の実態と協議の進捗状況について</p> <p>②今後の在り方について</p> <p>③こども家庭センターの役割と、発達支援センターとの連携について</p> <p>④教育部局との連携について</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
19	佐藤 英俊	車両事故多発町道の改良に向けて	<p>交通安全で最も大切なことはハンドルを握るドライバー自身の安全に対する意識づけであることは改めて言うまでもないが、悪天候、道路環境の状態にも大きく左右されることも事実である。</p> <p>昨今の本町を取り巻く積雪期における車両事故件数は年々増加の一途であり、本町が管理する町道において、道路構造上ドライバーの注意だけでは防止が困難な町道もある。</p> <p>ひらふスキー場の通称、さくら坂、そして国道5号線から樺山方面に進む比羅夫線、比羅夫線と比羅夫橋手前で合流する比羅夫温泉郷線の三カ所は特筆すべき危険箇所があり、注意看板程度の啓発ではもはや限界と考える。</p> <p>改良に向け、現状の細かな調査が必要と考える。まずは早い時期に専門的な立場での調査が必要と考えるが、町長の考えをお聞かせください。</p>	町長	
20	佐藤 英俊	町ホームページのトップ画面について	<p>3月4日からの予算審査特別委員会にて、本町ホームページの更新などは随時可能と教示いただいた。</p> <p>担当者が新たな情報などを更新しているが、景観法に基づく住民説明会開催を知るためには数回のクリックを必要としている状態である。</p> <p>本町は大型の開発が既に市街地まで及び、開発周辺の住民の方々はもちろんのこと、この町で暮らす住民の方々の関心も極めて高く、現在の住民説明会開催案内をトップページから直接開くことを希望するの方々からの要望をいただいた。</p> <p>トップページから直接開くことに支障をきたす問題点などがないのであれば、早期に改善していただきたいが、現状をお聞かせください。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
21	佐藤 英俊	南6条東2丁目開発に関わる住民の安全について	<p>本年2月3日北海道新聞朝刊一面に8段抜きで掲載された、外国人1200人住宅の記事は多数の住民を驚かす報道でした。</p> <p>2月19日の経済建設常任委員会の場で当該開発に関わる一連の時系列が報告されています。</p> <p>色々な不安を一つ一つ解消していくことはもちろんですが、今後、工事が始まった場合における大型車両の通行、冬期間の道路環境は容易に想像ができます。</p> <p>開発予定地に接する町道、東一丁目通りの住民安全確保をどのように行う考えかお聞かせください。</p>	町長	
22	佐藤 英俊	農地転用と新たな営農のかたちについて	<p>農地法で転用が厳しく制限されている農地であるが、農地の所在している場所、後継者、効率的な営農の可否など、様々な転用条件を満たせば、第三者への所有権移転及び転用は可能であることから、現在、本町において一定条件を満たし比較的短期間で転用が可能と想定される農地は、市街地、郊外を問わずに、どの程度存在しているのか。(農業委員会 会長)</p> <p>また、本町樺山地域においては、農業法人が農地を取得し、新たに営農を始めるケースも誕生していると聞かすが、本町における農業の展望をお尋ねします。(町長)</p>	町長 農業委員会 会長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
23	佐藤 英俊	ニセコモデルの蘭越町負担協議と今季の状況について	<p>令和6年9月定例会一般質問において、ニセコモデルにおける蘭越町から相応の負担を求めるべきではないか、との質問に対し「今季(24-25)に向け、関係者間で必要な協議を行う」旨を町長から答弁いただいております。</p> <p>令和7年1月20日開催の経済建設常任委員会において、蘭越町の負担協議に関しての質問に対し「観光圏の事業でございますのでこの事業計画、これは観光圏の総会の中で諮られております。その中で2町で負担するというのを3者での協議は済んでいるというふうに理解しています」と、統括監から答弁いただきました。</p> <p>以上を踏まえ町長にお尋ねします。</p> <p>1) 令和6年度 ニセコ観光圏協議会総会資料、議事録を確認していますが、どの部分を指し3者間協議は済んでいる、と理解すれば良いのか。</p> <p>2) 9月定例会の町長答弁では、今季に向け、関係者間での必要な協議を行うとあるが、協議は開催されているのか。</p> <p>以下、今季の状況について</p> <p>①報道などによると好調な利用があったとなっているが、参加各社から売上報告がされているのか。</p> <p>②2シーズン目のニセコモデルは観光支援事業と考えているが、町長の見解は。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
24	佐藤 英俊	リゾートマップ作製事業支援について	<p>リゾートマップ作製にあたり、宿泊税を財源とした200万円をニセコ観光圏協議会負担金として支出し、ニセコプロモーションボード事業支援を行っている。</p> <p>現在、ニセコプロモーションボードは非会員の施設はマップには掲載されず、会員加入案内には会員特典として施設掲載案内がされている。</p> <p>地方自治法において、負担金・補助金及び交付金は、地方公共団体が公益上必要と認める場合に限り、市民、団体等に支出できるとされています。また、公益事業は法人関係者や営利企業等に特別の利益を与えないこととなっています。</p> <p>以上の点を踏まえ町長・代表監査委員それぞれの見解をお尋ねします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. リゾートマップへの掲載を会員加入の特典とする案内行為は特別の利益に該当すると考えるが見解は。</li> <li>2. 宿泊税を財源とする主たる目的は納税した観光客の利便に資すると考えていますが、非会員施設の不掲載は主たる目的に反していると考えが見解は。</li> </ol>	町長 代表監査 委員	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
25	笠原 啓仁	『読書環境整備計画』 意義、目的、位置付けは	<p>新年度予算案に「俱知安町読書環境整備計画及び俱知安町子ども読書活動推進計画策定業務委託」費が計上されています。</p> <p>予算審査特別委員会では「整備計画」が「図書館構想のための前段の計画だ」との説明がありました。</p> <p>改めて以下の点についてお尋ねします。</p> <p>①「整備計画」の意義、目的、位置付けについて（町長・教育長）</p> <p>②前期「子ども読書活動推進計画」の総括について（教育長）</p>	町長 教育長	
26	笠原 啓仁	『小学校の学級編制』 現状に対する認識は	<p>3月定例議会で行われる教育行政報告では、最初に新年度の小・中学校の学級編制（見込み）について報告されます。学校教育において学級編制を重要な要素として位置づけているからだと思います。</p> <p>そこで教育長にお尋ねします。本町小学校の学級編制の現状に対する教育長ご自身の認識についてお聞かせください</p>	教育長	
27	笠原 啓仁	『スキーリフト券補助』 同伴保護者も対象に	<p>「子どもに同伴する保護者にもスキーリフト券の補助を」。町民のこうした要望は私にも寄せられています（直近では2月23日に開催した私の『報告会』に初めて参加した町民から要望がありました）。</p> <p>予算審査特別委員会では複数の議員からもその実現を求める意見が出されていました。旭ヶ丘スキー場も含め、同伴保護者への補助は私も必要と考えます。</p> <p>先日の予算審査特別委員会で「子どもたちのリフト利用率を上げるには、保護者への補助が必要と考えている。どのような形でできるか、引きつづき関係者とも協議していきたい」との前向きな答弁が体育館長からありました。</p> <p>難しいかもしれませんが適切な補助方法は必ずあります。実現に向けた町長・教育長の決意をお聞かせください。</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
28	笠原 啓仁	『地方卸売市場』 今後の役割、あり方は	<p>先日、町政課題に関する町民からの投書が自宅に届きました。その中の1つに本町の卸売市場についての指摘がありました（資料参照）。予算審査特別委員会では市場会計に対して複数の議員から質疑や意見も出されていました。そこで以下の点についてお答えください。</p> <p>①利用実績や生産物の取扱量など、市場の運営（経営）状況。 ②関係条例・規則・規程どおりに市場が運営されているかどうか。 ③市場の今後の役割、あり方。</p>	町長	
29	笠原 啓仁	『懸案事項・喫緊課題』 今後の方針や対応は	<p>予算審査特別委員会でもお聞きしましたが、町政における以下の懸案事項や喫緊課題に対する今後の方針や対応について、改めてお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福祉ハイヤーチケット 支給方法の改善に時間がかかり過ぎです。新年度では「応急措置」的対応を含め、町民要望に丁寧に応えるべきです。</li> <li>2. 高齢者向け住宅 建設に向けた新年度の行程、住宅の概要、入居開始に当たっての町の役割などについて、ご説明ください。</li> <li>3. 清掃センター（焼却施設） 解体に向けた議論がいつのまにか立ち消えになってしまいました。現在はどうなっているのでしょうか。</li> <li>4. 羊蹄衛生センター 建て替えを巡り暗中模索状態であることが、予算委での副町長の答弁でわかりました。万が一にでも稼働停止となれば、本町は「トイレ無き国際リゾート」と化します。時間はありません。新年度はどのような手を打ちますか。</li> </ol>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
30	木村 聖子	令和7年度予算と町政執行方針について	<p>令和7年度町政執行方針において令和7年度の予算編成は「こどもを産み育てやすい環境の構築」「次代の担い手の育成と持続可能な産業の振興」「暮らしやすさを向上させる環境整備」「継続事業の着実な推進」を基本姿勢として、長期的な財政状況を見据えて計画的に進めるとされています。物価高や人件費増、建設コスト増など厳しい財政状況の中、新しい財源の確保策を視野に、新規事業や大規模事業を進めていくことが重要であると捉えています。</p> <p>1) 新たに開始する【こども家庭センター】【こども誰でも通園制度】【5歳児健診】はさらなる子育て世帯の後押しになると考えるが、こども家庭センターの役割と具体的な利用イメージを伺う。</p> <p>2) 【南6条団地1号棟新築工事】 周辺では民間による大規模宅地開発が進んでいる。今後車両の増加が見込まれるが、南3条通り及び通じる道路（八号川沿い、南6条団地通りなど）など俯瞰的な整理が必要と考える、あわせて団地内通路のひとつはリバーパークに繋がるが団地内道路は町道にするべきではないか。</p> <p>3) 【高齢者住宅】 建設の見通しがつきそうなところまで進んでいるとのことだが、建設予定地は旧測候所跡地となるのか。戸数や大きさなどの想定はどうか。</p> <p>4) 【上下水道事業】 上水道事業について、ひらふ地区の増水供給に伴う各種工事がおこなわれているが近い将来的には市街地に供給されている高砂水源の更新工事が必要となる。更なる大規模支出に備えて収入の確保が必要と考える。シミュレーションでR10年に赤字となる試算だったが使用料改正の進捗状況は。また家事用については緩やかな改正率にすることが必要と考える。 今年度から企業会計に移行した下水道事業について、使用料区分は家庭用と浴場用の2区分だが、財源確保のために事業用（宿泊規模に応じた）使用料を自治体で設定できないのか。</p> <p>(次頁へ続く)</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(30)	(木村 聖子)		<p>(前頁より)</p> <p>5) 事業を進めるために欠かせない「人」を大切に 途中で退職する職員が多いように感じる。病気や育児・介護等と仕事の両立をするためには各課や庁内の相談体制が不可欠である。 総務課に衛生管理者を配置しているが職員に周知されているのか、状況を伺う。</p>		
31	藪中 聡史	旭ヶ丘スキー場について	<p>旭ヶ丘スキー場について3点お尋ねいたします。</p> <p>1. 旭ヶ丘スキー場ジャンプ台の解体と跡地利用について 今年、ジャンプ台が解体される予定と伺っておりますが、その跡地をどのように利用する計画があるのかお聞かせください。スキー場利用者にとって有益な空間利用を期待しております。</p> <p>2. 旭ヶ丘スキー場の駐車場の拡張について 最近、スキー場の利用者が増加していると聞いておりますが、その中で駐車場が狭く、一部の方が車を止められなかったという状況があったようです。今後、駐車場の拡張や改善について何か計画があるのか、お考えをお聞かせください。</p> <p>3. 旭ヶ丘スキー場専属のパトロール配置について スキー場の利用者が増加していることから、安全面に関する懸念も高まってきています。今後、専属のパトロールを配置する必要があるのではないかと考えますが、この件についての見解や対策をお聞かせください。</p>	教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
32	木村 俊一	公共交通について	<p>現在バス・JRともに運転手不足による要因で減便が行われています。一方で町を訪れる観光客は増えており、スーツケースを持っての移動によりバス・JRともにすし詰め状態で、バスに至っては乗れない人もいる状況が続いています。新幹線開通は2038年とも言われていますが、この状況が続けば、パウダーを楽しんだ観光客の思い出が、すし詰めバス・JR移動ということになりかねません。</p> <p>高速バスについては、荷物を積み込むスタッフ不足による遅延や、荷物を積み込めずに乗車を諦める人もいます。京都駅や伊丹空港では現地受け、現地送り出しのスタッフを準備して荷物積み込み要員を確保しています（運賃転嫁も含めて）。</p> <p>観光ハイシーズン限定で車両を増やす、減便を元に戻すなどをバス・JRに申し入れてはどうですか。運転手が不足しているのであれば、例えばニセコモデルのようにドライバー数を道外バス会社から誘致するなど、その解決になることであれば「二次交通」の括りの中で宿泊税を充てるべきと思います。宿泊税の使い道が多岐に広がっているように思いますが、二次交通対策は本来の使い道に合致していると考えます。</p> <p>また、人手不足・混雑問題緩和のため、JRにICカード等のキャッシュレス決済についても、新幹線開業前に導入するよう働きかけてはどうでしょうか。導入事例・最新事例の視察など調査をした上で、倶知安観光協会など観光関係者と倶知安町が提案をしていく必要があると思います。</p> <p>行政執行方針にも書かれていましたが、既に協議しているならば進行状況と町長の考えをお聞かせください。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
33	坂井 美穂	人と動物の共生社会をめざして	<p>ペットを家族の一員として大切にされているご家庭が増えている一方で、高齢化の進展とともに飼い主が世話をすることができなくなるという問題も発生している。</p> <p>特に猫は繁殖力が著しく、飼い主のいなくなった猫は地域において野良猫として問題行動をとるようになる。地域で猫を保護する活動も増えている。</p> <p>以下について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本町における動物愛護に係る条例の整備状況（町長）</li> <li>2. 飼い主のいなくなった猫を地域の多様な方たちが保護をする地域猫活動が全国で広がりを見せているが本町としての考え（町長）</li> <li>3. 人とペットの防災ガイドラインはどのように検討されているか（町長）</li> <li>4. 本町における動物愛護教育について（教育長）</li> </ol>	町長 教育長	
34	坂井 美穂	地域を支える多様な主体の支援について	<p>昨年、改正地方自治法で指定地域共同活動団体が創設され、地域社会において、多様な主体が連携・協働し、地域課題の解決の担い手として、関わっていく環境を整備することが必要とされた。子どもの居場所づくりや高齢者福祉など、様々な活動を行う団体が住民同士の助け合い、支え合いを通じて、新たな時代に即した住民本位の地方自治の姿を目指すことが期待されている。</p> <p>現在、本町においても様々な活動をされている団体がいるが、当町としての支援や指定地域共同活動団体としての検討について伺う。</p>	町長	